



那珂市国際交流協会機関紙

Naka Bridge

Vol. 30 Mar. 2021

なかブリッジ

Naka Bridge is named with the Goal of continuing the Friendship Bridge from Naka to the World.

## 令和2年度を振り返って

今年度を振り返ると、世界中が新型コロナウイルスとの闘いになった1年でした。この場をお借りして、感染されたかたがたには心よりお見舞いを申し上げます。

また、このような心折れそうな状況の中でも、多くの皆様に当協会を支えていただいたことに心より感謝申し上げます。

さて、令和2年は、米国テネシー州オークリッジ市との国際親善姉妹都市盟約締結30周年の節目を迎える年でしたが、新型コロナウイルスの影響により、記念行事等が中止を余儀なくされました。他にもさまざまな事業が中止となる中、「何もできない」のではなく、「何ができるのか」を考え、“Virus cannot break our friendship（ウイルスは私たちの友情を壊せない）”というスローガンを心に、多くの皆様のご協力のもと、オークリッジ市の中学生たちに、手作りの和柄の布マスクを寄贈することができました。

さらに、外出も思うようにできない日々が続く中、新たな事業展開として、オンライン会議システムZoomを活用した「オンライン多文化共生セミナー」を開催し、多くの皆様にご参加いただきました。

新たな年度は、世界が一つとなってコロナウイルスを克服することを願うとともに、当協会もアフターコロナにおける新たな国際交流のあり方を模索し、邁進してまいりますので、今後ともより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



手作り布マスクを箱詰めする様子



那珂市国際交流協会会長 大和田 和男



# 令和2年度実施事業報告

## ◆オークリッジ市に手作り布マスクを贈りました

今年度のアメリカ合衆国テネシー州オークリッジ市との中学生交換交流及び国際親善姉妹都市盟約締結 30 周年記念式典は、新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、30 年続くオークリッジ市との友好の証として、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に役立つよう、オークリッジ市の中学生約 1,400 人に、和柄の布マスクを作製し、寄贈しました。



那珂つるしびなの会による布マスク作製風景



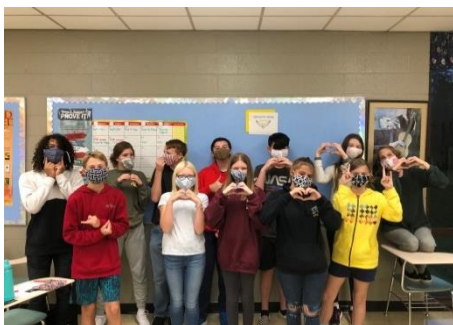
完成した手作り布マスク



布マスク一つ一つにメッセージを添えました

たくさんのかたがたからご協力をいただき、当協会が用意した布マスクと市民のかたから寄付いただいたマスク合計 2, 216 枚とマスクケース 100 枚を寄贈することができました。

オークリッジ市から届いた写真とお礼のメッセージの一部を紹介します。



ジェファーソン中学校の生徒たち



ロバーツビル中学校の生徒たち



引率で来市したロバーツビル中学校の先生たち

親愛なる友人達へ

那珂市の友人達の広い心に本当に感謝しています。たとえ遠く離れていても、30年続く私たちの関係は、学校や地域の交流を通してさらに強くなっています。

オークリッジ市教育委員会は生徒たちが受け取った美しいマスクと、マスクひとつひとつに貼られていた大切なメッセージにとても感謝しています。友情のメッセージは皆の心に残り、また、心のこもった贈り物に頭が下がる思いです。

私たちは再び友人を迎えられるようになることを楽しみにしています。

敬具

オークリッジ市教育委員会委員長 W・キーズ・フィラウアー





3月1日、オークリッジ市より、寄贈したマスクのお礼及び姉妹都市盟約締結30周年の記念品としてキルトが届きました。幅170センチ、高さ180センチで、これまでの中学生交換交流事業でオークリッジ市の中学生が着用していた思い出深いTシャツなどが縫い込んであります。市役所1階ロビーに展示してありますのでぜひご覧ください。

オークリッジ市の中学生の写真や感謝のメッセージ等は、協会ホームページの新着情報及びフェイスブックでご覧いただけます。

## ◆小中学校等国際理解支援事業

令和2年12月4日（金）、外国の言葉や文化に触れる機会の提供と国際的理解や関心を深めるため、小中学校等国際理解支援事業を開催し、ばら野学園那珂市立五台小学校に外国人講師を派遣しました。趙美鈴さん（韓国）、高岡麗さん（中国）、トム・ギブさん（イギリス）、トウ・ティホン・リンさん（ベトナム）が6年生を対象に、それぞれの出身国の紹介をしました。参加した64人の児童は、4つの国の文化や習慣について楽しく学ぶとともに、積極的に講師に質問し、活発に交流していました。



趙 美鈴さん（韓国）



高岡 麗さん（中国）



トム・ギブさん（イギリス）



トウ・ティホン・リンさん（ベトナム）



根本正顕彰会は、日本の社会のより良い発展を目指して精一杯生きた根本正の精神を学ぼうとして平成9年10月に設立し、令和2年4月現在74名の会員がいます。

**根本正顕彰会**



**木内酒造合資会社**  
KIUCHI BREWERY

東海那珂ロータリークラブ

**Rotary**



会長 植野 重男  
幹事 大越 正彦

## ◆サポート委員研修



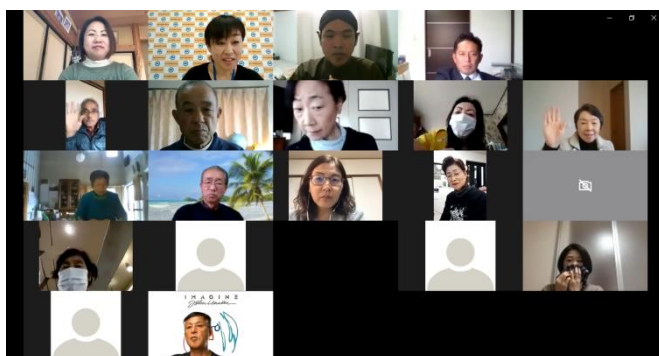
令和2年11月30日(木)、市国際交流協会サポート委員研修を、オンライン会議システムのZoomを使用して行いました。

初めてのアプリの設定、接続に戸惑いながらも無事につながるようになり、インドネシア出身のラフマントさんからインドネシアの文化や習慣について学び、また、Zoom上で質問するなど、オンラインのセミナーを想定した研修を行いました。

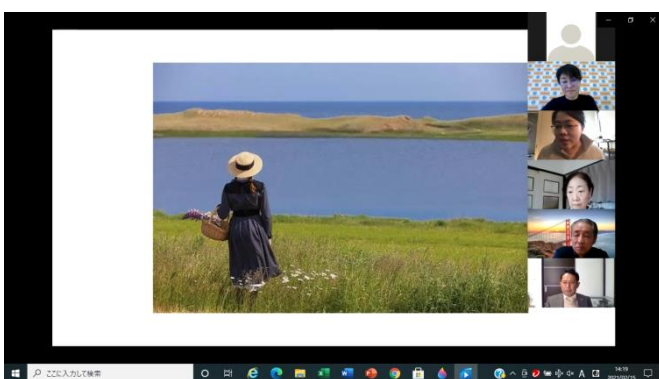
初めてのZoomでの研修は、オンラインを活用した新たな事業展開につながる、大変有意義なものになりました。

## ◆多文化共生セミナー

今年度は、12月にインドネシア出身のラフマントさん、2月にカナダ出身のグロリア・チェンさんを講師に迎え、オンライン会議システムのZoomを使用したセミナーを開催しました。



12月12日(土) インドネシア編



2月14日(日) カナダ編

インドネシア編、カナダ編ともに、講師はパワーポイントの資料や動画を使用しながら、とても流暢な日本語でわかりやすくお話してくださいました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出かけられない状況でも、自宅から気軽に参加できることや、リアルタイムで講師に質問できることなど、オンラインの利点を生かしたセミナーとなり、多くの参加者から満足したとの感想をいただきました。



## 特別寄稿 *Wonderful Memories in Tennessee*

令和元年度の中学生交換交流事業で、引率者のロバーツビル中学校、ジェイミー・ダウンズ先生のホストファミリーを務めた大川あずきさん（市内在住、大学3年生）が、昨年の春、ジェイミー先生宅でホームステイを体験しました。その国際交流体験の生の声をお寄せいただきましたので紹介します。



ジェイミーとは、2019年、那珂市とオークリッジ市の中学生交換交流の引率者として私の家に滞在した縁で出会いました。2020年、大学が春休みになったタイミングで、2ヶ月間テネシー州ノックスビル市にあるジェイミーの自宅で過ごすことになり、ジェイミーと子供のフランクリンと私の3人での生活が始まりました。

滞在中、テネシー大学の語学学校に通うために毎朝同じバスに乗り、運転手さんと挨拶をします。バス停から学校まで徒歩5分程ですが、運転手さんは、真っ直ぐ歩けば学校に着くように毎日バス停ではない場所で降ろしてくれました。とても親切で陽気な人でした。

学校には、様々な国の学生がいました。日本人は私を含め3人でした。クラスメイトは、サウジアラビア人が2人とブラジル人でした。ペットにラクダを飼っていたり、ブラジルでは警察官をしていたりと、様々な人がいてすごく楽しかったです。

家に帰ってから2人が帰宅するまで学校の宿題をして、オークリッジ市で暮らす日本人の茂子さんにオークリッジの歴史や街を案内してもらいました。週末はレポート課題が出たので、ジェイミーやジェイミーのママが添削してくれました。ジェイミーとフランクリンが帰宅したら、レストランに行ったりスーパーに買い物に行ったり、ジェイミーの弟家族の家で夕飯を食べたり遊んだりしました。子供たちは、私が日本語を話すとすごく驚いて興奮していました。遠出もしました。ジョージア州との州境のチャタヌーガという街や、ノースカロライナ州のアッシュビルという街にも行きました。日曜日の朝には、教会に行きました。教会の皆さんもすごく親切で、最後に会った時は、みんなで私が無事に日本に帰れるように祈ってくれました。

映画館で映画を見たり、アイスホッケーの試合を見に行ったり、誕生日パーティーを開いてもらったり、日本総領事主催のパーティーに茂子さんと参加したりと、たくさんの経験をしました。インフルエンザにかかって病院にも行きました。

言葉の通じない私を快く受け入れ、家族のように接してくれた皆さんに感謝でいっぱいです。すごく楽しくて、まだまだ書ききれない思い出ばかりです。ぜひみなさんも一緒に国際交流しませんか？きっと忘れられない思い出になるでしょう！



# あなたの「使わない」「要らない」ものを誰かのために役立てようプロジェクト

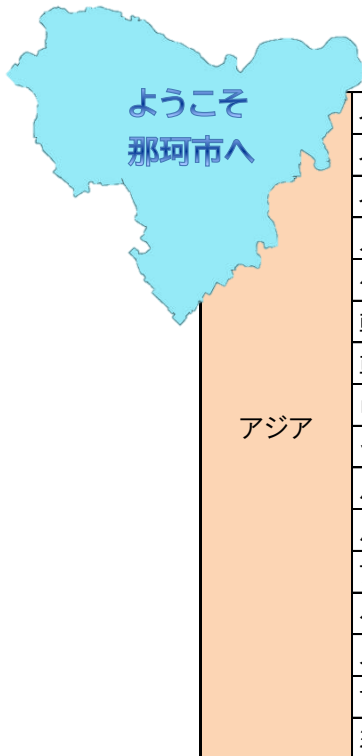
あなたの「使わない」「要らない」ものを誰かのために役立てようプロジェクトは、書き損じはがきや使用済み切手、外国の紙幣・コインなどを集め、国際協力活動を行っている NGO 等の団体に寄附することで国際支援に協力するプロジェクトです。今年度もたくさんのかたにお持ちいただきました。ご協力ありがとうございました。

## 集まったもの

|                  |         |
|------------------|---------|
| ・未使用はがき(書き損じを含む) | 24枚     |
| ・未使用郵便切手         | 18枚     |
| ・使用済み切手          | 38,033枚 |
| ・未使用テレホンカード      | 43枚     |
| ・使用済みテレホンカード     | 36枚     |
| ・外国の紙幣・コイン       | 497枚    |



## わがまちの外国人市民の皆さん



|     |         | (人) |       |        | (人) |
|-----|---------|-----|-------|--------|-----|
| アジア | イラン     | 1   | アフリカ  | ウガンダ   | 1   |
|     | インド     | 2   |       | ガーナ    | 1   |
|     | インドネシア  | 8   |       | ジンバブエ  | 1   |
|     | スリランカ   | 4   | ヨーロッパ | アイルランド | 1   |
|     | タイ      | 16  |       | 英国     | 3   |
|     | 韓国      | 27  |       | イタリア   | 1   |
|     | 朝鮮      | 3   |       | スペイン   | 1   |
|     | 中国      | 64  |       | ルーマニア  | 1   |
|     | 台湾      | 4   |       | ロシア    | 1   |
|     | パキスタン   | 5   | 北アメリカ | 米国     | 7   |
|     | バングラデシュ | 2   | 南アメリカ | メキシコ   | 1   |
|     | フィリピン   | 59  |       | ブラジル   | 3   |
|     | ベトナム    | 68  |       | ペルー    | 1   |
|     | ネパール    | 1   |       |        |     |
|     | マレーシア   | 3   |       |        |     |
|     | ミャンマー   | 5   |       |        |     |

**29か国 295人**

(令和3年1月1日現在)

## 発行・問合せ先 那珂市国際交流協会事務局

〒311-0192 茨城県那珂市福田1819-5 (那珂市市民生活部市民協働課内)  
 電話番号：029-298-1111 (内線263) FAX 番号：029-352-1021  
 Eメールアドレス：ieanaka1990@gmail.com  
 ホームページ：http://www.ieanaka.jp/  
 Facebook も随時更新中！



ホームページ



フェイスブック



※ facebook は自分のアカウントを持っていなくても大丈夫。どなたでも見ることができます。

❖那珂市国際交流協会では、会員及びサポート委員を随時募集しています。年会費：2,000円(個人)、10,000円(団体)